

「大学・高専連携事業基金」事業
第14回 グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP)
参加学生募集要項

1 目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2大学1高専（東京都立大学（以下、「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

2 プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、異なる学校や学年間での学生同士での共同作業による組織人能力の向上、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身に付けるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

3 求める人材

- (1) 初対面の学生同士でチームで協調しながら自ら主体的に課題に取り組める学生
- (2) 海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

4 対象者

(1) 推薦募集

第1～4学年（募集時の学年）で過去IEPに参加しすべての課程を修了した者。（レポートを提出、最終報告会で発表、修了証を取得した者）

(2) 一般募集

第1～4学年（募集時の学年）

※ただし、過去にGCPに参加したことのある者、授業料未納者は除く。

※第5学年及び専攻科生については、この募集要項ではなく、「第14回グローバル・コミュニケーション・プログラムチームリーダー募集要項」を参照のこと。

5 募集人員

4(1)、(2)合計30名（大学生、大学院生とともに6名程度からなるチームを編成する。）

6 実施時期及び期間

- (1) 国内におけるプログラム：2026年3月～2026年11月

(2) 海外におけるプログラム：2026年8月下旬から9月上旬中の9日間程度

7 海外における現地活動プログラム実施予定場所

シンガポール共和国又はマレーシア（どちらに派遣するかは課題によって学校が指定する）

8 プログラム実施内容（予定）

(1) 国内におけるプログラム【事前学習】

ア 課題学習

- ・下記についてチーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案
- ・国内フィールドワーク（テーマに関連する企業などへのインタビュー等）
- ・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、国内合宿 等
- ・各チームの進捗確認等を全体で実施
- ・プレゼンテーション研修

国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト
ー世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップー

高専生メンバー数名と都立大生・産技大生・高専専攻科生のいずれかのリーダーとでグループを作り、アジアの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、世界共通の課題について調査研究し、世の中のニーズに応えられる製品やサービスなどの新しいアイデアによる解決策の提案を行う。

- ・詳細に関しては、別紙1を参照すること。
- ・チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時に、リーダーが中心となって設定する。

【参考】 過去のグローバル・コミュニケーション・プログラム調査テーマ

「日本で一緒に旅をする友達を探すマッチングアプリ「TABITOMO MATCH」の提案」、「外国人観光客の鉄道利用を生成AIで最適化する方法の検討」

「再生可能エネルギーを用いた持続可能なエネルギー社会の実現へ向けて」

「多子どもと自然でつなぐ未来の一步 ～子供に自然体験を届ける仕組み～」

「シンガポールの若者バイトマッチングプロジェクトー「Saving Chin-Han」ー」

「自転車利用者に捧げる新たな雨対策の創出」

イ 英語学習（コミュニケーション能力向上研修）

- ・英会話の練習を目的とした研修（1回）
- ・コミュニケーション能力向上研修（希望者には週1回計12回程度の対面レッスン
予定 変更の可能性あり）

※チームメンバー（高専本科生）は、研修支援会社の設置する各教室または本校にて対面受講、自宅等からのオンライン受講のいずれかの方法で実施する。

- ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4月に受験予定）
- (2) 海外におけるプログラム
- ア 課題学習
- ・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）
- イ 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション
- ウ 日系海外企業の事業調査
- (3) 国内におけるプログラム【事後学習】
- ア 報告書の作成、最終報告会の実施
- イ プレゼンテーション研修（2日間程度、9～10月実施予定）
- ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9月に受験予定）
- (4) スケジュール（予定）

			全体スケジュール	課題学習	英語学習
2026	3月	事前学習			○英会話研修
	4月		○オリエンテーション ○TOEIC、RIASEC 受験 ○全体研修①	○テーマ設定 ○個人目標設定	○コミュニケーション能力向上（チームメンバー：希望者に研修支援会社が設置する各教室または本校にて対面受講、自宅等からのオンライン受講いずれかを予定）（週1回 計12回程度）
	5月		○全体研修②	○現状の把握 ○課題の把握・分析、解決策の検討 ○仮説の立案	
	6月		○国内合宿（全体研修③） 都内での合宿、3日間程度	○中間報告におけるプレゼンテーション準備 ○国内フィールドワークの実施 ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等	
	7月		○中間報告会 ○全体研修（全体研修④）	○進捗確認等	
	8月	海外学習・事後学習	○全体研修⑤～⑥ ○渡航前説明会 ○プレゼン研修①	○課題の検証（フィールドワーク） ○英語によるプレゼンテーション ○現地学生交流 ○企業調査	
	9月		○海外派遣 ○プレゼン研修②	○中間報告会および海外学習での指摘や調査を踏まえ内容の精査	○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	10月		○全体研修⑦～⑧ ○TOEIC、RIASEC 受験 ○プレゼン研修③ ○最終報告会		○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	11月		○全体研修⑨		

※スケジュールに記載の事項は、原則全員参加とする。

※課題学習は、原則としてチーム学習を基本とする。

9 経費負担

研修経費の負担は以下のとおりとする。なお、負担経費の確定は2025年度の本プログラム実施予算が決定する2026年4月1日以降とする。

なお、プログラム期間中の途中辞退については、15 のとおり自己負担が発生する。

(1) 参加者個人負担分は(2)以外の諸経費とする。

<例>

ア 国内及び海外プログラム(上記8参照)においてフィールドワークを実施した際やチームごとに自主活動を行った際に発生する交通費及び食事代

イ 国内合宿参加中の交通費及び食事代

ウ パスポート申請手数料

エ 海外旅行保険料(個人用)

オ その他個人で支出する費用

(2) 東京都公立大学法人負担分

ア 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費

イ 国内及び海外プログラムに係る研修受講料

ウ 英語学習に係る研修受講料・テキスト代

エ TOEIC、RIASEC 受験料

オ 国内合宿に係る宿泊費

カ 国内及び海外プログラムの実施に係る諸経費

キ 研修参加時の往復交通費(支給上限あり)

10 出願

(1) 出願書類

【様式1】グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書兼承諾書

(2) 出願方法

上記(1)の出願書類を、所属キャンパスの管理課教務学生係へ指定の方法で提出する。

(3) 提出期限

2025年12月17日(水) 13時厳守

11 選考

(1) 選考方法

・小論文及び面接

・本校に設置している国際交流ルーム(GCO)の利用ポイントも評価の参考にする。

(2) 小論文の実施

推薦募集及び一般募集それぞれに課題を設け、2025年12月19日(金)に実施する。

(予備日12月22日(月))

時間・場所については別途指示する。なお、定められた実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

(3) 面接の実施

2026年1月10日(土)に実施する。

時間・場所については別途指示する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。面接方法は、個人面接もしくはグループディスカッションとする。

(4) 参加学生の決定方法

小論文、面接などの結果を総合的に判断し、プログラム参加学生を決定する。

12 結果の通知

2026年1月21日(水) 予定

通知方法については別途連絡する。可否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。

13 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募により提供された個人情報は、選考及び本プログラム実施の目的以外には使用しない。

14 特記事項

海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

15 プログラム途中での参加辞退について

(1) 本プログラムを参加途中で自己都合により辞退した場合、9 経費負担(2) 東京都公立大学法人負担分に記載した経費の一部を本項(2)により参加者に負担させる。

なお、プログラムの辞退理由が以下ア～エに該当する場合は、辞退による自己負担は免除とする。アについては死亡届の写しまたは医療機関の診断書、イ・ウについては公的機関発行の各種証明書等を、エについては本法人の所有する各組織発行の学籍移動許可書で事実確認を行う。

ア プログラム期間中に本人又は保護者・保証人の死亡や重大な疾病・怪我の発生による場合

イ プログラムの開始から渡航日前までに発生した家計の急変による、経済状況の急な悪化による場合

ウ プログラム期間中に本人もしくは保護者保証人が、大規模な災害により被災した場合(対象の災害は学校が別途指定する)

エ プログラムの開始から、6月末までに、退学・転学を理由とする学籍移動が発生し学籍移動届を提出して受理され、かつ異動届の期日どおり学籍移動を行った場合。なお、本項目における辞退については、辞退が発生した時点までにかかった交通費は、自己負担とする。

(2) 経費の負担内容は、次のとおりとする。

ア プログラム開始から6月末までに辞退した場合

TOEIC、RIASEC 1 回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全

体研修及びオリエンテーション実施会場までの交通費（計 5 万円程度）

イ 7 月から最終報告会の開催日までに辞退した場合

TOEIC、RIASEC 2 回分の受験料、国内合宿の宿泊費、辞退届提出日までに出席した全体研修、オリエンテーション実施会場および空港までの交通費、航空券に関する費用（航空券、燃油サーチャージ、空港使用料、各種税金）、現地宿泊費（計 30～40 万円程度）

16 その他

- (1) 全体スケジュールに掲載されているものについては、原則として全員参加すること。
参加にあたっては、前回プログラムスケジュール（参考資料）を確認の上、申込を検討すること。欠席の状況によっては以後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。出席不良による学校からの参加取り消しによる経費負担は、自己都合辞退と同一に取り扱う。
- (2) 本プログラムを通じて、TOEICスコア400点以上の取得を目標とする。
- (3) 本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降の国際化事業に協力すること。
- (4) プログラムの活動は、写真・動画等で撮影され、後日に公開されるため、予め留意すること。
- (5) 本学で実施する航空技術者育成プログラム、未来工学教育プログラム、スタートアップ教育支援プログラム（地動計画）等のプログラムに参加を希望するもしくは参加を決定している学生は、本プログラムへの応募を認めない。

17 問合せ先

高専品川キャンパス管理課教務学生係 （電話：03-3471-6331）

高専荒川キャンパス管理課教務学生係 （電話：03-3801-0145）